

会議録

委員会名：ごみ処理広域化適地検討委員会

日 時：令和8年8月18日（火）午後2時から

場 所：前橋市六供清掃工場 3階 大会議室

出席者：【学識経験者】

荒井 喜久雄、西村 淑子、片野 光一

【4市1町の職員】

岡田 秀行（前橋市環境部長）

齊藤 博功（桐生市市民生活部長）

塩島 好之（伊勢崎市環境部長）

星野 和則（みどり市市民部長）

齋藤 智彦（玉村町環境安全課長）

議事：

（1）会長の選出について

議題(1)について、荒井委員が会長に選任されるとともに、副会長として西村委員及び片野委員が選任された。

（2）広域処理に関するこれまでの経過及び検討状況について

（西村副会長）

ごみ袋有料化の実施状況について質問

（前橋市環境部長）

4市1町で有料化を実施している自治体はない。

ごみ減量化の有効な手法の一つであるため、今後の検討課題としているが、まずはごみ減量化の取組を進めることとし、現時点で導入を予定しているものではない旨を説明

（荒井会長）

ごみ減量化を進めることで施設規模を抑制し、財政負担の軽減につなげることが重要であるとの認識を示した。

（3）適地選定について

（荒井会長）

人口重心の位置算出時点について質問

（事務局）

令和2年国勢調査を基に算出しており、今回の評価においては許容範囲

と考えている旨を説明

(荒井会長)

活断層、洪水、液状化等の災害リスクへの対応について質問

(コンサルタント (エイト日本技術開発))

活断層やハザード区域で被害の発生することが想定される区域は評価対象から除外する考えを説明

(片野副会長)

大久保断層や赤城山の過去の地形変動等を踏まえ、災害リスクへの十分な配慮が必要との意見を述べた。

(荒井会長)

廃棄物発電に必要な特別高圧送電線の整備状況について質問

(コンサルタント (エイト日本技術開発))

複数の候補地で特別高圧送電線への接続可能性がある旨を説明

(玉村町環境安全課長)

公募の評価段階について確認

(事務局)

公募は三次選定から評価対象となることを説明

(みどり市市民部長)

焼却施設と資源化施設で評価基準を分ける具体的な考え方について質問

(事務局)

焼却施設と資源化施設では、搬入車両台数等の条件が異なることから、評価項目の重み付けに違いが生じる可能性がある旨を説明し、具体的な取扱いについては今後検討することを説明

(荒井会長)

工業専用地域の取扱い及び地権者との調整には十分配慮すべきとの意見を述べた。

(4) 公募状況について

(みどり市市民部長)

応募要件の面積要件について確認

(事務局)

応募地を含めて全体で2ha以上確保できれば応募可能である旨を説明

(荒井会長)

過去の最終処分場公募時の状況について質問するとともに、自治会との調整を十分行うよう意見を述べた。

(事務局)

　　前回は9件の応募があり、今回も自治会や農業関係者等に説明会を実施している旨を説明